

【年頭挨拶】

あけましておめでとうございます。
昨年は、一般競争入札という過当競争に見舞われ、例年になく厳しい1年でした。今年も昨年以上に厳しさが増すものと思われます。そんな中で、予算の減少に加え建設業者が已然として多いため、自然淘汰が進むものと思われますが、淘汰しないよう営業努力をしていきますので、各自の能力を存分に発揮して頂きたい。現在手持ち工事も少ないため、全員で取り組み事故防止に努めると共に、寒さも厳しくなるため、体調を整え安全に気を付けて作業をして頂きたい。

スリップ交通事故に注意!!

毎年、この時期は、路面状況が乾燥から凍結へと急激に変化し、その変化に気づかず急ブレーキ・急ハンドル操作をして、スリップ等をまねいたための事故が多発します。

誰でも一度くらいは冬道でスリップして、ヒヤッとした経験があると思いますが、夏の間はその感覚を忘れてしまい、雪の降り始めや、寒の入りで事故を起こす人が多くなります。運転手の皆さん、冬期の事故を防止するために次のことに注意しましょう

速度を控えて路面状況をよく確認!

雪が降っていなくても、気温の低下により路面が凍結している場合がありますのでスピードを落として路面状況をよく確認しながら運転しましょう。特に日陰になっている場所や橋の上、トンネルの出入口付近などが凍結している場合があるので気をつけましょう。

冬道で「急」につく動作は厳禁!

凍結路面では、急ブレーキ、急ハンドル、急加速などの「急」のつく動作はスリップの原因となりますので、慎重な運転操作をしましょう。

車間距離を十分に!

冬道での車間距離は、夏の場合よりも3倍はとるように心がけ、追突事故などを防止しましょう。また、カーブの手前でのスピードダウンを心がけましょう。



寒の入りになり寒さもますます厳しくなってきます。この時期暖房は欠かせないものですが、火災はちょっとした不注意によって起きていますので、現場事務所での火災を起こさないように、次のことに注意しましょう。

ストーブのそばに燃えやすいものを置かない
電気機器は正しく使い、たこ足配線はしない
喫煙所以外ではたばこを吸わない
事務所の周りに燃えやすい物を置かない

【酸欠に注意】

北九州市の工業用水路地下工事現場で、酸欠による死亡者が発生致しました。マンホール内部及びピット内部の点検をする際は、酸素濃度の測定をするなどして酸素欠乏症にならないようにして下さい。酸素濃度 18% 以下は死に至ります。